

研究主題

生徒自身が活動しやすいように環境や状況に対する判断や調整をする力を育む指導の在り方

ー自己理解を深める自立活動と新学習指導要領における「困難さに応じた指導の工夫」の具現化を通してー

別添資料

- 「困難さに応じた指導の手立て表」(各教科等の学習に関連するもの)(試案) ……pp.1～6
- 「困難さに応じた指導の手立て表」(社会科の学習に関連するもの)(試案) ……pp.7～9
- 「困難さに応じた指導の手立て表」(社会科の学習及び自閉症の特性に関連するもの)(試案) ……pp.10～12
- 「自分を知り, なりたい姿を目指そう」チェックリスト(生徒用)(試案) ……p.13
- 「自分を知り, なりたい姿を目指そう」チェックリスト(教師用)(試案) ……p.14

「困難さに応じた指導の手立て」表（各教科等の学習に関連するもの）（試案）

学習活動	困難さの状態	指導の工夫の意図	手立て	記載教科等
聞く	音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成、反復等）の聴き取りや知覚することが難しい。	要素に着目しやすくなるようにする。	音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化する。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。	音楽
	音声を聞き取ることが難しい。	外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるようにする。	リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ、音の強弱を手を上下に動かして表す。	外国語活動・外国語(小)
		本時の流れが分かるようにする。	活動の流れを黒板に記載しておく。	
声に出して発表する	声を出して発表することに困難がある。	自分の考えを表すことに対する自信がもてるようにする。	紙やホワイトボードに書いたものを提示したり、ＩＣＴ機器を活用して発表したりするなど、多様な表現方法が選択できるように工夫する。	国語
	人前で話すことへの不安を抱いている。			
	話を最後まで聞いて答えることが苦手である。	発言するタイミングを理解できるようにする。	事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの回り方についての指導をする。	特別活動
	人前で話すことへの不安から、自分の考えなどを発表することが難しい。	安心して発表できるようにする。	発表する内容について紙面に整理し、その紙面を見ながら発表できるようにする。 ＩＣＴ機器を活用する。	総合的な学習の時間
文字を読む	文章を目で追いながら音読することが困難である。	自分がどこを読むのかが分かるようにする。	教科書の文を指等で押さえながら読むよう促す。	国語(小)
			行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意する。	
			語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意する。	
			読む部分だけが見える自助具（スリット等）を活用する。	
	1単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい。	語のまとまりや文の構成を見て捉えやすくするようにする。	外国語の文字を提示する際に字体をそろえたり、線上に文字を書いたりする。 語彙・表現などを記したカードなどを黒板に貼る際には、貼る位置や順番などに配慮する。	外国語活動・外国語(小)
	英語の語には、発音と綴りの関係に必ずしも規則性があるとは限らないものが多く、明確な規則にこだわって強い不安や抵抗感を抱いてしまう。	ねらいに沿って安心して取り組めるようにする。 安心して発音できるようにする。	語を書いたり発音したりすることをねらう活動では、その場で発音することを求めない。 似た規則の語を選んで扱う。	外国語(中)

情報を 読み取る	地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難である。	読み取りやすくする。	地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にする。	社会
	学習過程における動機付けの場面において学習上の課題を見いだすことが難しい。	社会的事象等を読み取りやすくする。	写真などの資料や発問を工夫する。	
	多くの声部が並列している楽譜など、情報量が多く、どこに注目したらよいのか混乱しやすい。	視覚的に情報を整理する。	拡大楽譜などを用いて声部を色分けする。	音楽(小)
			リズムや旋律を部分的に取り出してカードにする。	
視点を変えたり感情を読み取ったりする	自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難である。	文章に表れている心情やその変化等が分かるようにする。	日常生活経験に関する例文や同年代の主人公の物語など、身近に感じられる文章を取り上げる。	国語
			気持ちがよく伝わる語句等に気付かせる。	
			心情の移り変わりが分かる文章の中のキーワードを示す。	
			心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させる。	
	相手の気持ちを察したり理解することが苦手である。	他者の心情等を理解しやすいようにする。	役割を交代して相手の気持ちを考えさせる。	特別活動
			相手の意図を理解しやすい場面に置き換える。	
			イラスト等を活用して視覚的に表す。	
	相手の気持ちを想像することが苦手である。		役割を交代して動作化、劇化する。	特別の教科 道徳
見たり読んだりしてイメージ化する	「商」「等しい」など、日常使用することが少なく、抽象度の高い言葉の理解が困難である。	具体的にイメージをもつことができるようにする。	興味・関心や生活経験に関連の深い題材を取り上げて、既習の言葉や分かる言葉に置き換える。	算数
	文章を読み取り、数量の関係を式や文字式を用いて表すことが難しい。	数量の関係をイメージできるようにする。	経験に基づいた場面や興味ある題材を取り上げる。	算数、 数学
			具体物を用いて場面を動作化させる。	
		解決に必要な情報に注目できるようにする。	文章を一部分ごとに示したり印を付けさせたりする。	
			場面を図式化する。	
	空間図形のもつ性質を理解することが難しい。	空間における直線や平面の位置関係をイメージできるようにする。	立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取図、展開図及び投影図と見比べて位置関係を把握させたりする。	
	形や色などの特徴を捉えることや、自分のイメージをもつことが難しい。	形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるようにする。	自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定する。	図画工作
	造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい。	形や色などに対する気付きや豊かなイメージにつながるようにする。	自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定する。	美術

観察する	自然の事物・現象を観察する活動において、時間をかけて観察することが難しい。		観察するポイントを示す。	理科(小)
			ＩＣＴ教材を活用する。	
	変化を見分けたり、微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい。	造形的な特徴を理解し、技能を習得するようにする。	経験や実態を考慮して、特徴が分かりやすいものを例示する。	図画工作
			多様な材料や用具を用意する。	
			種類や数を絞る。	
	形や色彩などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい。	一人一人が自分に合ったものを選べるようにする。	実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示する。	美術
			多様な材料や用具を用意する。	
			種類や数を絞る。	
			造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示する。	
予想する・調べる・推論する・比べる・まとめる	方向付けの場面において、予想を立てることが困難である。	見通しをもてるようにする。	ヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする。	社会
	情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点や観点を定めることが難しい。		見本やヒントを示したワークシートを用意する。	
	自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難である。	どのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいようにする。	考える項目や順序を示したプリントを準備する。	生活
			事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現してから文章を書かせるようにする。	
	様々な事象を調べたり、得られた情報をまとめたりすることが困難である。	必要な事象や情報を選択して整理できるようにする。	着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に提示する。	総合的な学習の時間
	様々な情報の中から、必要な事柄を選択して比べることが難しい。	具体的なイメージをもって比較することができるようになる。	比べる視点の焦点を明確にしたり、より具体化して提示したりする。	
	データを目的に応じてグラフに表すことが難しい。	目的に応じたグラフの表し方があることを理解したり、よりよい表し方に気付いたりできるようにする。	同じデータについて折れ線グラフの縦軸の幅を変えたグラフに表したり、棒グラフや折れ線グラフ、帯グラフなど違うグラフに表したりして見比べる。	算数
	新たなプログラムを設計することが難しい。	生徒が考えやすいようにする。	あらかじめ用意した幾つかの見本となるプログラムをデータとして準備し、一部を自分なりに改良できるようにするなど、難易度の調整や、段階的な指導をする。	技術・家庭
	音楽を聴くことによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を言語化することが難しい。	表現したい言葉を思い出すきっかけとなるようにする。	イメージや感情を表す形容詞などのキーワードを示し、選択できるようにする。	音楽(中)
書く	比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが難しい。	文字を書く負担を軽減する。	手書きだけではなく、ＩＣＴ機器を使って文章を書くことができるようにする。	国語(中)

振り返りをする	学習の振り返りが難しい。	学習してきた場面を想起しやすいようにする。	学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示すなどとして、思い出すための手掛かりを得られるようにする。	総合的な学習の時間
	学習の振り返りの場面において学習内容の想起が難しい。	学習経過を思い出しやすいようにする。	学習経過などの分かる文章や写真、イラスト等を活用する。	生活
行動面の配慮	見えにくさのため活動に制限がある。	不安を軽減したり安全に実施したりすることができるようにする。	活動場所や動きを事前に確認する。	保健体育
			仲間同士で声を掛け合う方法を事前に決める。	
			音が出る用具を使用する。	
	燃焼実験のように危険を伴う学習活動において、危険に気付にくい。		確実に様子を把握できる場所で活動させるようにする。	理科
	周囲の状況に気が散りやすく、包丁、アイロン、ミシンなどの用具を安全に使用することが難しい。	手元に集中して安全に作業に取り組めるようにする。	個別の対応ができるような作業スペースや作業時間を確保する。	家庭
	周囲の状況に気が散りやすく、加工用の工具や機器を安全に使用することが難しい。	手元に集中して安全に作業に取り組めるようにする。	個別の対応ができるような作業スペースや作業時間を確保する。	技術・家庭
			作業を補助するジグを用いる。	
	調理や製作などの実習を行う際、学習活動の見通しをもったり、安全に用具等を使用したりすることが難しい。		個に応じて段階的に手順を写真やイラストで提示する。	技術・家庭
		安全への配慮を徹底する。	実習中の約束事を決め、随時生徒が視覚的に確認できるようにする。	
人と一緒に活動する	言葉での説明や指示だけでは、安全に気を付けることが難しい。	説明や指示の意味を理解し、なぜ危険なのかをイメージできるようにする。	体験的な事前学習を行う。	生活
	みんなで使うもの等を大切に扱うことが難しい。	大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるようにする。	学習場面に即して、生活経験等も踏まえながら具体的に教える。	生活
	グループでの準備や役割分担が難しい。	準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるようにする。	準備や役割分担を視覚的に明示する。	保健体育
			生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませる。	
	グループで活動することが難しい。		他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担する。	技術・家庭
			役割が実行できたかを振り返る。	
	暗黙のルールや一般的な常識が理解できない。		ルールを明文化する。	特別の教科 道徳

感情のコントロール	勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい。	状況に応じて感情をコントロールできるようにする。	事前に活動の見通しを立てる。	体育、保健体育
			勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について事前に確認する。	
体の動きの難しさ	自分の力をコントロールすることが難しい。	状況に応じて力のコントロールができるようにする。	力の出し方を視覚化する。	保健体育
			力の入れ方を数値化する。	
	身体の動きに制約があり、活動に制限がある。	生徒の実情に応じて仲間と積極的に活動できるようにする。	用具やルールの変更を行う。	保健体育
			用具やルールの変更について仲間と話し合う活動を行う。	
			必要に応じて補助用具の活用を図る。	
	リズムやタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすること、ボールや用具の操作等が難しい。	動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるようにする。	動きを視覚的又は言語情報に変更したり簡素化したりして提示する。	保健体育
			動かす体の部位を意識させる。	
			操作が易しい用具を使用する。	
	複雑な動きをしたり、バランスを取ったりすることに困難がある。		用具の大きさを工夫する。	体育
			動きを細分化して指導する。	
			適切に補助をする。	
学習への関心	活動への関心をもつことが難しい。	活動への関心を高める。	約束や注意点、手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードを明示する。	家庭
			体感できる教材・教具を活用する。	
	社会的事象に興味・関心をもてない。	その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の動きと身近な生活がつながっていることを実感できるようにする。	特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業、実際の体験を取り入れる。	社会
			安心して学習できるよう、学習の順序を分かりやすく説明する。	
	関心のある事柄を広げることが難しい。	関心のもてる範囲を広げることができるようにする。	現在の関心事を核にして、それと関連する具体的な内容を示していく。	総合的な学習の時間

学習への参加・状況変化への対応	学習に集中したり、持続したりすることが難しい。	落ち着いて学習できるようにする。	道具や材料を必要最小限に抑えて準備する。	家庭
			整理・整頓された学習環境で学習できるようにする。	
	対人関係への不安が強く、他者の体に直接触れることが難しい。	仲間とともに活動することができるようにする。	ロープやタオルなどの補助用具を用いる。	保健体育
	実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難であったり、見通しがもてなかったりして、学習活動に参加することが難しい。	学習の見通しをもてるようにする。	実験の目的を明示する。	理科
			実験の手順や方法を視覚的に表したプリント等を掲示したり、配付したりする。	
			実験の操作手順を具体的に明示する。	
			扱いやすい実験器具を用意する。	
	試合や記録測定、発表などの状況への対応が求められる学習活動への参加が難しい。	生徒の実情に応じて変化に対応できるようにする。	挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮する。	保健体育
			ルールを弾力化する。	
			場面設定を簡略化する。	
	保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい。	実習の手順や方法を理解できるようにする。	実習の手順や方法を視覚的に示す。	保健体育
			一つ一つの技能を個別に指導する。	
	日常生活とは異なる環境での活動が難しい。	不安を解消できるようにする。	学習の順序や具体的な内容を段階的に説明する。	保健体育
	学校行事における避難訓練等の参加に対し、強い不安を抱いたり戸惑ったりする。	見通しをもてるようにする。	各活動や学校行事のねらいや活動の内容、役割(得意なこと)の分担などについて、視覚化したり、理解しやすい方法を用いたりして事前指導を行う。	特別活動
			周囲の生徒に協力を依頼しておく。	

「困難さに応じた指導の手立て」表（社会科の学習に関連するもの）（試案）							
学習過程			学習活動	困難さの状態	指導の工夫の意図	手立て	記載教科等
①	②	③					
			聞く	音声を聞き取ることが難しい。	本時の流れが分かるようにする。	活動の流れを黒板に記載しておく。	外国語(小)
			声を出して発表する	声を出して発表することに困難がある。	自分の考えを表すことに対する自信がもてるようにする。	紙やホワイトボードに書いたものを提示したり、ＩＣＴ機器を活用して発表したりするなど、多様な表現方法が選択できるように工夫する。	国語
				人前で話すことへの不安を抱いている。			
				話を最後まで聞いて答えることが苦手である。	発言するタイミングを理解できるようにする。	事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの回り方についての指導をする。	特別活動
				人前で話すことへの不安から、自分の考えなどを発表することが難しい。	安心して発表できるようにする。	発表する内容について紙面に整理し、その紙面を見ながら発表できるようにする。 ＩＣＴ機器を活用する。	総合的な学習の時間
			文字を読む	文章を目で追いながら音読することが困難である。	自分がどこを読むのかが分かるようにする。	教科書の文を指等で押さえながら読むよう促す。	国語(小)
						行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意する。	
						語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意する。	
						読む部分だけが見える自助具（スリット等）を活用する。	
			情報を読み取る	地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難である。	読み取りやすくする。	地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にする。	社会
				学習過程における動機付けの場面において学習上の課題を見付けることが難しい。	社会的事象等を読み取りやすくする。	写真などの資料や発問を工夫する。	
				多くの声部が並列している楽譜など、情報量が多く、どこに注目したらよいのか混乱しやすい。	視覚的に情報を整理する。	拡大楽譜などを用いて声部を色分けする。 リズムや旋律を部分的に取り出してカードにする。	音楽(小)

（①課題把握 ②課題追究 ③課題解決・新たな課題を示し、当てはまる部分を■で示す。）

			視点を換えたり感情を読み取ったりする	相手の気持ちを察したり理解することが苦手である。	他者の心情等を理解しやすいようにする。	役割を交代して相手の気持ちを考えさせる。	特別活動	
						相手の意図を理解しやすい場面に置き換える。		
						イラスト等を活用して視覚的に表す。		
				相手の気持ちを想像することが苦手である。	役割を交代して動作化、劇化する。	特別の教科 道徳		
			見たり読んだりしてイメージ化する	「商」「等しい」など、日常使用することが少なく、抽象度の高い言葉の理解が困難である。	具体的にイメージをもつことができるようにする。	興味・関心や生活経験に関連の深い題材を取り上げて、既習の言葉や分かる言葉に置き換える。	算数	
			観察する	自然の事物・現象を観察する活動において、時間をかけて観察をすることが難しい。		観察するポイントを示す。	理科(小)	
						ＩＣＴ教材を活用する。		
			予想する・調べる・推論する・比べる・まとめる	方向付けの場面において、予想を立てることが難しい。	見通しをもてるようにする。	ヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする。	社会	
				情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点や観点を定めることが難しい。		見本やヒントを示したワークシートを用意する。		
				自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難である。	どのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいようにする。	考える項目や順序を示したプリントを準備する。	生活	
				様々な事象を調べたり、得られた情報をまとめたりすることが困難である。	必要な事象や情報を選択して整理できるようにする。	事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現してから文章を書かせるようにする。		
				様々な情報の中から、必要な事柄を選択して比べることが難しい。	具体的なイメージをもって比較することができるようにする。	着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に提示する。	総合的な学習 の時間	
				データを目的に応じてグラフに表すことが難しい。	目的に応じたグラフの表し方があることを理解したり、よりよい表し方に気付いたりできるようにする。	比べる視点の焦点を明確にしたり、より具体化して提示したりする。		
				書く	比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが難しい。	文字を書く負担を軽減する。	手書きだけではなく、ＩＣＴ機器を使って文章を書くことができるようにする。	国語(中)
					振り返りをする	学習の振り返りが難しい。	学習してきた場面を想起しやすいようにする。	学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示すなどして、思い出すための手掛かりを得られるようにする。
	学習の振り返りの場面において学習内容の想起が難しい。	学習経過を思い出しやすいようにする。	学習経過などの分かる文章や写真、イラスト等を活用する。	生活				

		人と一緒に活動する	みんなで使うもの等を大切に扱うことが難しい。	大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるようにする。	学習場面に即して、生活経験等も踏まえながら具体的に教える。	生活
			グループでの準備や役割分担が難しい。	準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるようにする。	準備や役割分担を視覚的に明示する。 生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませる。	保健体育
			グループで活動することが難しい。		他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担する。 役割が実行できたかを振り返る。	技術・家庭
			暗黙のルールや一般的な常識が理解できない。		ルールを明文化する。	特別の教科 道徳
		感情のコントロール	勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい。	状況に応じて感情をコントロールできるようにする。	事前に活動の見通しを立てる。 勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について事前に確認する。	保健体育
		学習への関心	活動への関心をもつことが難しい。	活動への関心を高める。	約束や注意点、手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードを明示する。 体感できる教材・教具を活用する。	家庭
			社会的事象に興味・関心をもてない。	その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の動きと身近な生活がつながっていることを実感できるようにする。	特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業、実際の体験を取り入れる。 安心して学習できるよう、学習の順序を分かりやすく説明する。	社会
			関心のある事柄を広げることが難しい。	関心のもてる範囲を広げることができるようにする。	現在の関心事を核にして、それと関連する具体的な内容を示していく。	総合的な学習の時間
		学習への集中	学習に集中したり、持続したりすることが難しい。	落ち着いて学習できるようにする。	道具や材料を必要最小限に抑えて準備する。 整理・整頓された学習環境で学習できるようにする。	家庭
		状況の変化への対応	試合や記録測定、発表などの状況への対応が求められる学習活動への参加が難しい。	生徒の実情に応じて変化に対応できるようにする。	挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮する。 ルールを弾力化する。 場面設定を簡略化する。	保健体育
			保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい。	実習の手順や方法を理解できるようにする。	実習の手順や方法を視覚的に示す。 一つ一つの技能を個別に指導する。	保健体育

「困難さに応じた指導の手立て」表（社会科の学習及び自閉症の特性に関連するもの）（試案）

学習過程			学習活動	困難さの状態	指導の工夫の意図	手立て
①	②	③				
			A. 聞く	音声を聞き取ることが難しい。	本時の流れが分かるようにする。	活動の流れを黒板に記載しておく。
						正確に聞き取れるように一度に一つの指示にする。【千葉】
			B. 声に出して発表する	声を出して発表することに困難がある。	自分の考えを表すことに対する自信がもてるようにする。	紙やホワイトボードに書いたものを提示したり、ICT機器を活用して発表したりするなど、多様な表現方法が選択できるように工夫する。
						選択肢を提示して答えやすくする。【千葉】
				人前で話すことへの不安を抱いている。		しぐさ、あいづち、アイコンタクトや肯定的な言葉遣いで子供の発言を共感的に受け止める。【千葉】
				話を最後まで聞いて答えることが苦手である。	発言するタイミングを理解できるようにする。	友達と同じ意見も賛成の意見として発言できるようにして、発言の機会を広げる。【千葉】
				人前で話すことへの不安から、自分の考えなどを発表することが難しい。	安心して発表できるようにする。	事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの回り方についての指導をする。
						発表する内容について紙面に整理し、その紙面を見ながら発表できるようにする。
						ICT機器を活用する。
			C. 情報を読み取る	地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難である。	読み取りやすくする。	地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にする。
				学習過程における動機付けの場面において学習上の課題を見付けることが難しい。	社会的事象等を読み取りやすくする。	理解を助ける挿絵等を活用する。【広島】
				多くの声部が並列している楽譜など、情報量が多く、どこに注目したらよいのか混乱しやすい。	視覚的に情報を整理する。	写真などの資料や発問を工夫する。
			D. 視点を変えたり感情を読み取ったりする	相手の気持ちを察したり理解することが苦手である。	他者の心情等を理解しやすいようにする。	拡大楽譜などを用いて声部を色分けする。
						リズムや旋律を部分的に取り出してカードにする。
						役割を交代して動作化・劇化して相手の気持ちを考えさせる。
			E. 見たり読んだりしてイメージ化する	「商」「等しい」など、日常使用することが少なく、抽象度の高い言葉の理解が難しい。	具体的にイメージをもつことができるようにする。	相手の意図を理解しやすい場面に置き換える。
						イラスト等を活用して視覚的に表す。
						相手の言葉や表情などから、相手の意図を推測する学習を取り入れる。【白】
						興味・関心や生活経験に関連の深い題材を取り上げて、既習の言葉や分かる言葉に置き換える。

（①課題把握 ②課題追究 ③課題解決・新たな課題を示し、当てはまる部分を■で示す。）

			F.観察する	自然の事物・現象を観察する活動において、時間をかけて観察することが困難である。		観察するポイントを示す。	
						ICT教材を活用する。	
			G.予想する・調べる・推論する・比べる・まとめる	方向付けの場面において、予想を立てることが難しい。	見通しをもてるようにする。	ヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにする。	
				情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点や観点を定めることが難しい。		見本やヒントを示したワークシートを用意する。	
						大切な箇所を枠囲みするなどして分かりやすく示す。【広島】	
						図等を使って因果関係を分かりやすく説明する。【広島】	
				自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難である。	どのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいようにする。	考える項目や順序を示したプリントを準備する。	
						事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現してから文章を書かせるようにする。	
			H.書く	様々な事象を調べたり、得られた情報をまとめたりすることが困難である。	必要な事象や情報を選択して整理できるようにする。	着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に提示する。	
				様々な情報の中から、必要な事柄を選択して比べることが難しい。	具体的なイメージをもって比較することができるようにする。	比べる視点の焦点を明確にしたり、より具体化して提示したりする。	
				I.振り返りをする	学習の振り返りが難しい。	学習してきた場面を想起しやすいようにする。	手書きだけではなく、ICT機器を使って文章を書くことができるようにする。
							書く作業量を減らせるように、ワークシートを構成する。【千葉】
							板書計画のメモを活用して、写したりノートに貼ったりしてよいことにする。【富山】
							そのまま書き写せば、分かりやすいノートになるような板書にする。【広島】
			J.人と一緒に活動する			書く分量を調整する。【広島】	
				みんなで使うもの等を大切に扱うことが難しい。	大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるようにする。	学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示すなどして、思い出すための手掛かりを得られるようにする。	
				グループでの準備や役割分担が難しい。	準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるようにする。	学習場面に即して、児童の生活経験等も踏まえながら具体的に教える。	
						準備や役割分担を視覚的に明示する。	
						生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませる。	
				グループで活動することが難しい。		他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担する。	
						役割が実行できたかを振り返る。	
						グループ編成に配慮する。【広島】	
						ルールを明文化する。	

			K.感情のコントロール	勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい。	状況に応じて感情をコントロールできるようにする。	事前に活動の見通しを立てる。
						勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について事前に確認する。
						思い通りにならないときの感情をコントロールする方法を考え、対応を事前に一緒に確認しておく。【富山】
						クイズ形式やゲーム形式の学習では負けても最後まで頑張ることが大切であることを知らせる。【富山】
			L.学習への関心	活動への関心をもつことが難しい。	活動への関心を高める。	約束や注意点、手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードを明示する。
						体感できる教材・教具を活用する。
						授業を短いユニットに分ける。【広島】
						特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業、実際の体験を取り入れる。
				社会的事象に興味・関心をもてない。	その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の動きと身近な生活がつながっていることを実感できるようにする。	安心して学習できるよう、学習の順序を分かりやすく説明する。
				関心のある事柄を広げることが難しい。	関心のもてる範囲を広げることができるようにする。	現在の関心事を核にして、それと関連する具体的な内容を示していく。
			M.学習への集中	学習に集中したり、持続したりすることが難しい。	落ち着いて学習できるようにする。	道具や材料を必要最小限に抑えて準備する。
						整理・整頓された学習環境で学習できるようにする。
						光や音などの刺激の量を調整したり避けたりする。【白】
						座席に配慮する。【広島】
						活動時間を具体的に示す。【広島】
						練習問題等では、個々のレベルに応じた数種類のプリントを用意する。【岡山】
						誤答であっても考え方や着眼点の良さを評価する。【広島】
						活動の始めと終わりをはっきりさせる。【広島】
			N.状況の変化への対応	試合や記録測定、発表などの状況への対応が求められる学習活動への参加が難しい。	生徒の実情に応じて変化に対応できるようにする。	あらかじめ生徒と話し合っ、達成可能な目標を設定する。【東京】
						挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮する。
						ルールを弾力化する。
						場面設定を簡略化する。
				保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい。	実習の手順や方法を理解できるようにする。	実習の手順や方法を視覚的に示す。
						一つ一つの技能を個別に指導する。

「自分を知り、なりたい姿を目指そう」チェックリスト（生徒用）（試案）					
学習活動	手立て	そう思う	少しも らっている	自分で工夫 している	
A. 聞くとき	1 活動の流れを黒板に書いてほしい。				
	2 正確に聞き取れるように一度に一つの指示にしてほしい。				
B. 声を出して 発表するとき	3 紙やホワイトボードに書いたものを提示して発表するなど、多様な表現方法を選ぶようにしてほしい。				
	4 選択肢があると発表しやすい。				
	5 しぐさ、あいづち、アイコンタクトや自分を認めてくれるような言葉遣いがあると安心して発表できる。				
	6 友だちと同じ意見も賛成の意見として発言してもよいことにしてほしい。				
	7 事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に教えてほしい。				
	8 発表する内容について紙面に整理し、その紙面を見ながら発表できるようにしてほしい。				
C. 情報を読み 取るとき	9 ICT機器（電子黒板やタブレット）を使った発表をしたい。				
	10 必要な情報を大きく示してほしい。				
	11 理解を助ける挿絵等がほしい。				
	12 写真などの資料や質問を工夫してほしい。				
D. 視点を換え たり感情を前 み取ったりす るとき	13 注目するところをカードにしたり色分けしたりしてほしい。				
	14 役割を交代して動作化や劇化して相手の気持ちを考えさせてほしい。				
	15 分かりやすい場面に置き換えて示してほしい。				
	16 人の心情はイラスト等で視覚的に示してほしい。				
E. 見たり読ん だりしてイメ ージ化する とき	17 相手の言葉や表情などから、相手の意図を推測する学習をしてほしい。				
	18 抽象的な言葉は興味・関心や生活経験に関連させて、習った言葉や分かる言葉に置き換えてほしい。				
F. 観察する とき	19 観察するポイントを示してほしい。				
	20 ICT教材を使いたい。				
G. 予想する・ 調べる・ 推論する・ 比べる・ まとめる とき	21 予想を立てるときは、学習順序を考えるためにヒントになる事実をカード等に整理してほしい。				
	22 考えるときの視点や観点を定めるときは、見本やヒントを示したワークシートを用意してほしい。				
	23 考えるときの視点や観点を定めるときは、大切な箇所を枠囲みするなどして分かりやすく示してほしい。				
	24 考えるときの視点や観点を定めるときは、図等を使って因果関係を分かりやすく説明してほしい。				
	25 経験を文章にしたり、考えをまとめたりするときは、考える項目や順序を示したプリントがほしい。				
	26 経験を文章にしたり、考えをまとめたりするときは、事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現したい。				
	27 物事を調べたり、情報をまとめたりするときは、着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に示してほしい。				
	28 様々な情報の中から必要なものを選択して比べるときは、比べる視点を明確にしたり、より具体的に提示したりしてほしい。				
H. 書くとき	29 手書きだけではなく、ICT機器を使って文章を書きたい。				
	30 書く作業量を減らせるような、ワークシートを作してほしい。				
	31 板書計画のメモを写したりノートに貼ったりしてよいことにしてほしい。				
	32 そのまま書き写せば、分かりやすいノートになるような板書にほしい。				
	33 書く分量を調整してほしい。				

学習活動	手立て	そう思う	少しも らっている	自分で工夫 している
I. 振り返りを するとき	34 学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示すなどして、思い出すための手掛かりを得られるようにしてほしい。			
J. 人と一緒 に活動する とき	35 きまりについて、時と場合に応じて具体的に教えてほしい。			
	36 準備や役割分担を視覚的に知りたい。			
	37 できる役割から段階的に取り組ませてほしい。			
	38 他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担したい。			
	39 役割が実行できたかを振り返る時間がほしい。			
	40 グループ編成に配慮してほしい。			
	41 ルールを具体的に文章に示してほしい。			
K. 感情のコン トロールにつ いて	42 感情のコントロールのため、事前に見通しを立てるようにしてほしい。			
	43 感情のコントロールのため、勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について事前に確認したい。			
	44 思い通りにならないときの感情のコントロールする方法を考え、対応を事前に一緒に確認しておきたい。			
	45 勝ち負けへの抵抗感を和らげる方法を教えてほしい。			
L. 学習への関 心をもつため	46 約束や注意点、手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードで示してほしい。			
	47 体感できる教材・教具を使いたい。			
	48 授業を短いまとりに分けてほしい。			
	49 特別活動などに関連させたり、具体的な体験や作業、実際の体験を取り入れたりしてほしい。			
	50 安心して学習できるよう、学習の順序を分かりやすく説明してほしい。			
	51 現在関心をもっていることと関連させてほしい。			
M. 学習に集 中するため	52 学習で使用する道具や材料は必要最小限にしてほしい。			
	53 整理・整頓された学習環境で学習したい。			
	54 授業前に明るさなどの刺激の量を調整したい。			
	55 座席に配慮してほしい。			
	56 活動時間は「〇分間」や「〇分まで」のように具体的に示してほしい。			
	57 練習問題等は、異なる難易度から自分にあった課題を選ぶようにしてほしい。			
	58 答えを間違えても、考え方など良かったところを評価してほしい。			
	59 活動の始めと終わりをはっきりしてほしい。			
N. 新しい学 習のとき	60 あらかじめ話し合っ、達成可能な目標を設定したい。			
	61 挑戦することを認め合う雰囲気にしてほしい。			
	62 ルールを場合によっては変更できるようにしてほしい。			
	63 場面設定を簡単にしてほしい。			
	64 実習の手順や方法を視覚的に示してほしい。			
	65 一つ一つの技能を個別に教えてほしい。			
その他、自分に必要だと思う支援やしてほしい支援等について記入してください。				

「自分を知り、なりたい姿を目指そう」チェックリスト（教師用）（試案）					
学習活動		手立て	必要だと 思う	今支援し ている	今後でき そう
A. 聞くとき	1	活動の流れを黒板に書く。			
	2	正確に聞き取れるように一度に一つの指示にする。			
B. 声を出して 発表するとき	3	紙やホワイトボードに書いたものを提示して発表するなど、多様な表現方法を選べるようにする。			
	4	選択肢を提示して答えやすくする。			
	5	しぐさ、あいづち、アイコンタクトや肯定的な言葉遣いで発言を共感的に受け止める。			
	6	友だちと同じ意見も賛成の意見として発言できるようにして、発言の機会を広げる。			
	7	事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの回り方についての指導をする。			
	8	発表する内容について紙面に整理し、その紙面を見ながら発表できるようにする。			
	9	ＩＣＴ機器を活用する。			
C. 情報を読み 取るとき	10	必要な情報を拡大する。			
	11	理解を助ける挿絵等を活用する。			
	12	写真などの資料や疑問を工夫する。			
D. 視点を交換 たり感情を読 み取ったりす るとき	13	注目するところを取り出してカードにしたり、色分けをする。			
	14	役割を交代して動作化や劇化して、相手の気持ちを考えさせる。			
	15	相手の意図を理解しやすい場面に置き換える。			
	16	人の心情はイラスト等で視覚的に示す。			
	17	相手の言葉や表情などから、相手の意図を推測する学習を取り入れる。			
E. 見たり触ん だりしてイメ ージ化する とき	18	抽象的な言葉は興味・関心や生活経験に関連させて、習った言葉や分かる言葉に置き換える。			
F. 観察する とき	19	観察するポイントを示す。			
	20	ＩＣＴ教材を活用する。			
G. 予想する・ 調べる・推 論する・比 べる・まと めるとき	21	予想を立てるときは、学習順序を考えるためにヒントになる事実をカード等に整理して示す。			
	22	考えるときの視点や観点を定めるときは、見本やヒントを示したワークシートを用意する。			
	23	考えるときの視点や観点を定めるときは、大切な箇所を枠囲みするなどして分かりやすく示す。			
	24	考えるときの視点や観点を定めるときは、図等を使って因果関係を分かりやすく説明する。			
	25	経験を文章にしたり、考えをまとめたりするとき、考える項目や順序を示したプリントを準備する。			
	26	経験を文章にしたり、考えをまとめたりするとき、事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現してから文章を書かせる。			
	27	物事を調べたり、情報をまとめたりするとき、着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に提示する。			
	28	様々な情報の中から必要なものを選択して比べるときは、比べる視点の焦点を明確にしたり、より具体的に提示する。			
	H. 書くとき	29	手書きだけではなく、ＩＣＴ機器を使って文章を書くことができるようにする。		
30		書く作業量を減らせるように、ワークシートを構成する。			
31		板書計画のメモを活用して、写したりノートに貼ったりしてよいことにする。			
32		そのまま書き写せば、分かりやすいノートになるような板書にする。			
33		書く分量を調整する。			

学習活動		手立て	必要だと 思う	今支援し ている	今後でき そう
I. 振り返り をするとき	34	学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示すなどして、思い出すための手掛かりを得られるようにする。			
	35	きまりについて、学習場面に即して、生徒の生活経験等も踏まえながら具体的に教える。			
	36	準備や役割分担を視覚的に明示する。			
	37	生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませる。			
J. 人と一緒 に活動する とき	38	他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担する。			
	39	役割が実行できたかを振り返りをさせる。			
	40	グループ編成に配慮する。			
	41	ルールを明文化する。			
K. 感情のコン トロールにつ いて	42	感情のコントロールのため、事前に活動の見通しを立てさせる。			
	43	感情のコントロールのため、勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について事前に確認する。			
	44	思い通りにならないときの感情のコントロールする方法を考え、対応を事前に一緒に確認する。			
	45	勝ち負けへの抵抗感を和らげる声掛けをする。			
L. 学習への関 心をもつため	46	約束や注意点、手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードを明示する。			
	47	体感できる教材・教具を活用する。			
	48	授業を短いユニットに分ける。			
	49	特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業、実際的な体験を取り入れる。			
	50	安心して学習できるよう、学習の順序を分かりやすく説明する。			
	51	現在の関心事を核にして、それと関連する具体的な内容を示す。			
M. 学習に集 中するため	52	学習で使用する道具や材料は必要最小限に抑えて準備する。			
	53	整理・整頓された学習環境で学習できるようにする。			
	54	授業前に明るさなどの刺激の量を調整させる。			
	55	座席に配慮する。			
	56	活動時間は「〇分間」や「〇分まで」のように具体的に示す。			
	57	練習問題等は、個々のレベルに応じた数種類のプリントを用意する。			
	58	誤答であっても考え方や着眼点の良さを評価する。			
	59	活動の始めと終わりをはっきりさせる。			
	60	あらかじめ生徒と話し合っ、達成可能な目標を設定する。			
N. 新しい学 習のとき	61	挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮する。			
	62	ルールを弾力化する。			
	63	場面設定を簡略化する。			
	64	実習の手順や方法を視覚的に示す。			
	65	一つ一つの技能を個別に指導する。			
その他、対象生徒に必要と考える支援等について記入してください。					

【参考文献】

文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』 日本文教出版
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 算数編』 日本文教出版
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 数学編』 日本文教出版
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編』 学校図書
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 生活編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』 教育芸術社
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編』 日本文教出版
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 美術編』 日本文教出版
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 体育編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編』 東山書房
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編』 開隆堂出版
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』 開隆堂出版
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』 開隆堂出版
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』 廣済堂あかつき
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』 教育出版
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総合的な学習の時間編』 東山書房
 文部科学省（平成30年）：『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編』 東洋館出版社
 文部科学省（平成30年）：『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編』 東山書房

【自】文部科学省（平成30年）：『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）』 開隆堂出版

【岡山】岡山県総合教育センター（平成27年）：『高等学校ハンドブック自分らしくかがやく～発達障害のある高校生のための指導・支援～』

【千葉】千葉県総合教育センター（平成27年）：『ユニバーサルデザインの考え方に学ぶどの子も「わかる」「できる」をめざす支援の工夫ヒント集』

【東京】東京都教育委員会（平成30年）：『「読めた」「わかった」「できた」読み書きアセスメント～中学校版～活用&支援マニュアル編』

【富山】富山県教育委員会（平成28年）：『特別支援教育学びQ&A（指導事例集）』

【広島】広島県教育委員会（平成30年）：『気になる生徒の支援につなげるチェックリスト～個別の指導計画作成ファーストステップ～』